

51 回生シラバス

科目名： 精神看護学概論	単位数： 1	担当者： ① 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 2年前期
科目目標： ・精神保健の考え方、こころの働きと人格の形成が理解できる。 ・さまざまな人間関係について、またその関係の中で起こるストレスと対処法について理解できる。 ・精神医療や精神看護の歴史や変遷を学び、現在の精神医療や精神保健について理解できる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	精神看護学で学ぶこと	<ul style="list-style-type: none"> 精神看護学の基本的な考え方が理解できる。 精神看護学とは何か 精神障害をもつ人の病いの体験と精神看護 「心のケア」と日本社会 精神看護の課題 	講義 ①	教科書① 第1章
2	精神保健の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 精神の健康、不健康とは何か、ふつうとは何か考え、精神の健康の定義を理解する。 	講義 ①	教科書① 第2章 教材①
3		<ul style="list-style-type: none"> 精神の健康とは 		
4		<ul style="list-style-type: none"> 心身の健康に及ぼすストレスの影響 心的外傷（トラウマ）と回復 精神障害という考え方 		
5	心のはたらきと人格の形成	<ul style="list-style-type: none"> 心のさまざまなはたらきとしくみについて生理学的、心理学的、社会的に理解する 	講義 ①	教科書① 第3章 教材②
6		<ul style="list-style-type: none"> 自己の形成がどのようにして形成されていくのか理解する。 		
7		<ul style="list-style-type: none"> 心のはたらき 心のしくみと人格の形成 		
8	関係の中の人間	<ul style="list-style-type: none"> 看護の基本となる人間関係についてシステム論の観点から理解する。 	講義 ①	教科書① 第4章
9		<ul style="list-style-type: none"> 家族のコミュニケーションや家族役割について理解する。 		
10		<ul style="list-style-type: none"> 集団力動について理解する。 システムとしての人間関係 全体としての家族 人間と集団 		
11	社会のなかの精神障害	<ul style="list-style-type: none"> 精神疾患・障害とその治療の歴史的な流れを理解する。 精神疾患・障害と地域・文化との結びつきを知り、その多様性と普遍性を理解する。 	講義 ① GW	教科書① 第7章
12		<ul style="list-style-type: none"> 精神障害と治療の歴史 日本における精神医学・精神医療の流れ 		
13		<ul style="list-style-type: none"> 精神障害と文化 精神障害と社会学 精神障害と法制度 おもな精神保健医療福祉対策とその動向 		
14	終講試験		試験 ①	
15				
教科書 参考書 ①（系看）精神【1】 精神看護の基礎（医学書院：eテキスト） 教材 ① DVD「日で見える精神看護第2版 VOL.1 精神科医療と福祉の現状」 ② DVD「精神看護学の基本概念」			評価方法 ・筆記試験 100点 評価基準 60点以上で合格とする。	

担当者①実務経験あり

51 回生シラバス

科目名： 精神看護援助論Ⅰ (メンタルヘルスマネジメント)	単位数： 1	担当者： ① 医師 (精神科) ② 看護師 (精神看護専門看護師) ③ 専任教員 (臨床実務経験有)	総時間数 (回数)： 15 (8)	時期： 2 年前期
科目目標： ・メンタルヘルスの概念を理解し、ストレス社会における勤労者の心の健康を支えるためのセルフケアスキルを習得する。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1	【大月精神科医師】 勤労者のメンタルヘルス	1. 勤労者におけるメンタルヘルスの意義と基礎的知識を学ぶ。 1) メンタルヘルスの概念 2) 勤労者におけるメンタルヘルスの意義	講義 ①	教科書① 第 2 章 A・B
2	ストレスと対処法	2. ストレスの概念と対処法について学ぶ。 1) ストレスとは 2) ストレスコーピング		教科書② 第 10 章 D、E
3	勤労者における心の健康 づくり	3. 勤労者の心の健康づくり計画について学ぶ 1) 職場におけるストレス 2) 医療関係者のストレス 3) 看護師のストレス	講義 ①	教科書② 第 16 章
4	ストレス関連疾患と治療 的介入	4. ストレス関連疾患と治療的介入について学ぶ。 1) ストレス症状と関連疾患 2) 心身症 3) 精神疾患 4) 各種心理療法 5) 傾聴の意義と技法	講義 ① 講義 ④	教科書① 第 5 章 C-④
6	自分自身のメンタルヘル スマネジメント	1. メンタルヘルスマネジメントの具体的実践方法がわかる。 1) 認知療法 コラム表を使ってのスキーマの修正 レポート課題	講義 ③	参考書① 配付資料
7	リエゾン看護師	1. メンタルヘルスに専門的に関わる看護師とその仕事の内容を理解し、実習・その後における患者との関わり、学生自身のメンタルヘルスマネジメントに活用できる。 1) リエゾン看護師とは 2) リエゾン看護師の役割	講義 ②	教科書② 第 14 章
8	終講試験		試験 ③	
教科書 参考書 ① (系看) 精神【1】 精神看護の基礎 (eテキスト 医学書院) ② (系看) 精神【2】 精神看護の展開 (eテキスト 医学書院)			評価方法 ・筆記試験 100 点 精神科医師 90 点 専任教員 10 点 (レポート)	
参考書 ① オウン・メンタルヘルス 医療スタッフのためのストレスマネジメント 中山書店			評価基準 60 点以上で合格とする。	

担当者①②③実務経験あり

51 回生シラバス

科目名： 精神看護援助論Ⅱ（対象理解）	単位数： 1	担当者： ① 専任教員（臨床実務経験有） ② 看護師（精神科看護師長）	総時間数（回数）： 30（15）	時期： 2年後期
科目目標： ・コミュニケーションを通して対象と信頼関係を築き、必要なケアを考えることができる。 ・精神障害のある対象のリハビリの支援について理解できる。 ・精神障害のある対象とのかかわりを振り返ることで自身のコミュニケーションの傾向に気づくことができる。				
回	単元	単元目標と内容	方法 担当	学習範囲 事前課題
1 2	ケアの人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアの人間関係は、感情をとおして自分を知り、相手を理解することが必要不可欠であることを理解する。 ケアの前提 ケアの原則 ケアの方法 関係をアセスメントする 患者-看護師関係における感情体験 関係の視点からみた困難事例 チームのダイナミクス 精神領域で活用する看護理論 プロセスレコード 	講義 ①	教科書① 第8章
3			演習	
4 5	回復を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・患者にとっての回復・リハビリとは何か理解することができる。 ・精神障害をもつ人々の回復を促し支援するさまざまなアプローチを理解する。 回復の意味 リハビリのビジョン 治療の場におけるリハビリの試みと看護の視点 リハビリを促す環境 リハビリを促す方法としてのグループ さまざまな回復のためのプログラム リハビリのプロセス ・精神的安寧のケア 	講義 ①	教科書① 第9章
6 7	地域におけるケアと支援	<ul style="list-style-type: none"> ・病院中心の精神科医療から地域におけるケアへと向かう現在の日本の地域精神保健の動きを理解する。 ・精神障害者の地域生活を支える社会制度とその基盤となる考え方が理解できる。 「器」としての地域 地域における生活支援の方法 地域におけるケアの方法と実際 	講義 ① GW	教科書① 第10章 A.B.C 教材①
8 9	入院治療の意味	<ul style="list-style-type: none"> ・入院治療を受ける患者の思いがわかり、適切な関わり方が理解できる。 ・精神医療特有の入院形態が理解できる。 精神科を受診すること 治療の器としての病院・病棟 入院中の観察とアセスメント ケアの方向性を考える 	講義 ① GW	教科書① 第11章

10 11	身体をケアする	<p>退院に向けての支援とその実際</p> <p>・精神疾患の回復段階に応じた身体ケアと、精神科で行われることが多い日常的な身体ケアの実際が理解できる。</p> <p>精神科における身体ケア 精神科における身体を通じた看護ケアの実際 精神科の治療に伴う身体ケア 身体合併症のアセスメントとケア 精神科における終末期ケア</p>	講義 ②	教科書① 第12章
12 13	安全を守る	<p>・人権と治療とのバランスの上になつた「安全」について、その基本的な考え方を知り、患者の安全を守るためのリスクマネジメントについて学ぶ</p> <p>リスクマネジメントの考え方と方法 緊急事態に対処する 緊急事態とスタッフの支援</p>	講義 ②	教科書① 第13章
14	災害時における心のケア	<p>・災害がもたらす身体的・精神的・社会的影響について学び、災害時の心のケアとは何か、危機に面した対象への支援の具体的方法が理解できる。</p> <p>災害時における心のケア 災害にみまわれた人の心理とケア 支援者のメンタルヘルスとケア</p>	講義 ①	教科書① 第15章
15	終講試験		試験 ①	
教科書 参考書		評価方法		
① (系看) 精神【2】精神看護の展開 (医学書院:eテキスト)		・筆記試験 100点		
② (系看) 精神【1】精神看護の基礎 (医学書院:eテキスト)		看護師 20点		
		専任教員 80点		
教材		評価基準		
① DVD「目で見る精神看護第2版 VOL.3 病院から地域社会へ」		60点以上で合格とする。		

担当者①②実務経験あり

5 回生シラバス

科目名： 精神看護援助論Ⅲ（看護過程）	単位数： 1	担当者： ① 専任教員（臨床実務経験有）	総時間数（回数）： 15（8）	時期： 2年後期
------------------------	-----------	-------------------------	--------------------	-------------

科目目標：
・精神障害をもつ対象の状態に合わせた看護が展開できる

回	単元	単元目標と内容	方法担当	学習範囲 事前課題
1	事例についてオリエンテーション グループワーク	統合失調症患者（急性期）の看護について看護過程の展開を行う。 （当校の精神看護学実習の記録用紙を使用） 事例についてグループワークを行う。	OR ① ② GW	配付資料
2 3	精神疾患を抱えた患者への理解を深める	DVD 視聴 ・事前学習 ・全体関連図(病態部分) ・データベース	教材① 教材②	3コマ目の 2日前に提出
<p>冬休みの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データベースの修正 ・全体関連図完成 <p style="text-align: center;">冬季休暇明け提出</p> <p>*余裕のある人は双極性感情障害、うつ病患者のデータベース（全体関連図）を作成し提出しても良い</p>				
4 5	グループワーク	事例についてグループワークを行う。 ・計画（CP・#）	小テスト GW ① ②	5コマ目の 2日前に提出
6	グループワーク	最終的に看護計画まで作成する。 発表準備		
7 8	発表	グループでの発表を行い、事例患者の看護計画を完成させる。 1グループ15分（質疑応答含め）	発表	

<p>教科書 参考書</p> <p>配付資料</p> <p>①（系看）精神【1】精神看護の基礎（医学書院：eテキスト）</p> <p>②（系看）精神【2】精神看護の展開（医学書院：eテキスト）</p> <p>教材</p> <p>① DVD「精神」</p> <p>② DVD「精神看護の基本2 薬物療法と看護の基本」</p>	<p>評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小テスト 20点 ・事前学習 10点 ・演習参加状況 ・授業態度 ・自己評価 ・他者評価 <p style="text-align: right; font-size: 2em;">➡ 70点</p>
<p>評価基準</p> <p>60点以上で合格とする。</p>	

担当者①実務経験あり